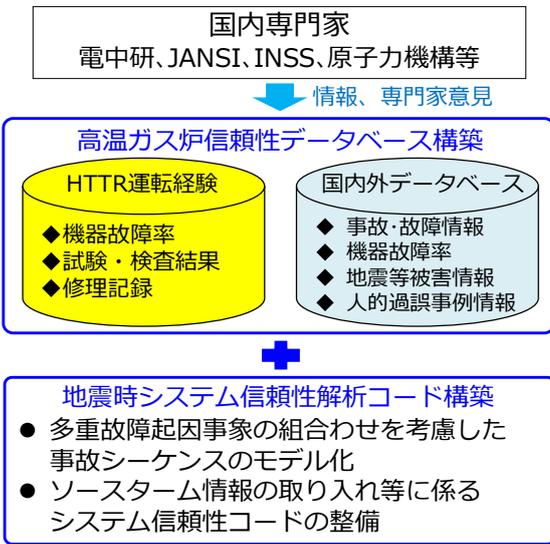


1. 課題目標

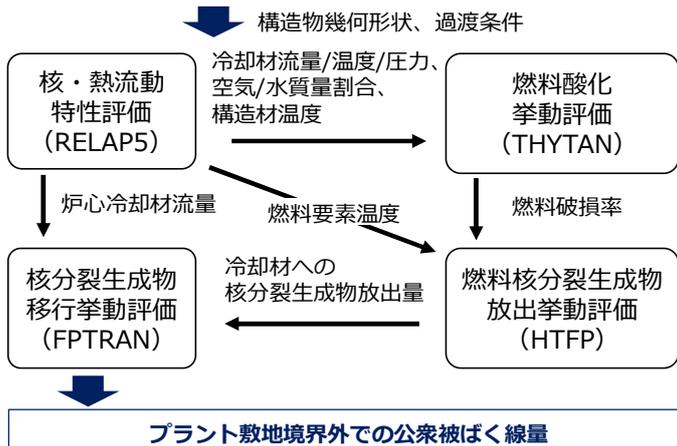
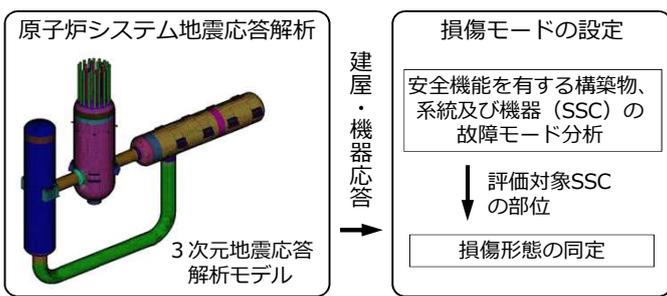
東京電力福島第一原子力発電所事故を受け、原子力プラントの安全性向上のため確率論的リスク評価（PRA）の積極的活用が求められている。本研究では、高温ガス炉の設計上、安全上の特徴を考慮したPRA手法の確立を目標に、高温工学試験研究炉（HTTR）の運転経験を取入れた高温ガス炉信頼性データベースや、静的機器地震時信頼性に着目した事故シーケンス頻度評価手法、黒鉛構造物損傷を考慮した事故影響評価手法を構築する。

3. 研究内容

事故シーケンス頻度評価手法の開発



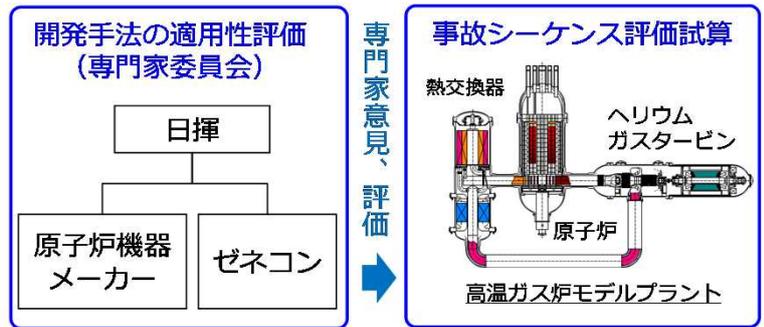
影響評価手法の開発



2. 研究実施体制



実用高温ガス炉への適用性評価



事業実施計画

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事故シーケンス頻度評価手法の開発	検討準備	事故シーケンス定量化手法構築	実施ガイド(案)の作成
事故影響評価手法の開発	検討準備	リスク評価システム構築	実施ガイド(案)の作成
実用高温ガス炉への適用性評価	評価準備	代表的な事故シーケンス1ケースのリスク試算	代表的な事故シーケンス複数ケースのリスク試算